

シリーズ 「閉ざされた歴史を開く」

— 1821年生れの作曲家・ピアノ名曲選 —

ピアノ：金澤 攝 Osamu N. Kanazawa



Vol. I

Charles Bovy Lysberg (1821-1873)
シャルル・ボヴィ・リスベルク



スイスのピアニスト＝コンポーザー。ショパンの数少ない音楽家の弟子となる。160点を超えるピアノ曲は師の繊細なピアノイズムを引き継ぐ一方、スイス独自の音楽性の追求も見られる。

2026年8月21日(金)

プレコンサート 17:30開演 スイスの女たち Op.1 他

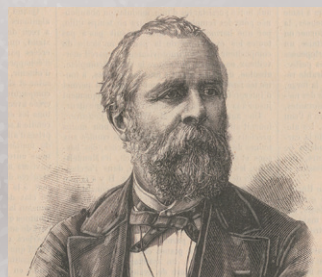
本編 18:30開演 6つのエチュード Op.14

「ウィリアム・テル」による幻想曲 Op.16 他

金澤攝：カプリッチョ (1969) 他

Vol. II

August Wolff (1821-1887)
オーギュスト・ヴォルフ



フランスの作曲家。明快な音感とアイロニカルな作風は極めて個性的である。だが30代半ばでプレイエル・ピアノ社の後継者として事業家に転身。作曲活動を放棄したことが惜しまれる。

2026年9月19日(土)

プレコンサート 16:00開演 6つのカプリス Op.4 他

本編 17:00開演 ソナタ Op.7

チロルのロンド Op.11 他

金澤攝：昭和の日記から (1972/2025) 初演 他

Vol. III

Friedrich Kiel (1821-1885)
フリードリッヒ・キール



19世紀のドイツ楽壇の重鎮の一人であったキールは厳格な古典様式に通じ、ブラームスなどの次世代に与えた影響は大きい。パデレフスキの作曲の師でもあった。

2026年10月26日(月)

プレコンサート 17:30開演 15のカノン Op.1

本編 18:30開演 6つのフーガ Op.2

変奏曲とフーガ Op.17 他

金澤攝：ピアノ曲 1974 改訂初演 他

Vol. IV

Rudolf Willmers (1821-1878)
ルドルフ・ヴィルマース



デンマーク有数の名家で博学で知られた学者を父として生れたヴィルマースは若くしてフンメル門下最後のスターピアニストとなった。その狂気を孕んだ超絶技巧とピュアーな感性は凄絶な魅力に満ちている。

2026年12月5日(土)

プレコンサート 16:00開演 6つのエチュード Op.1 他

本編 17:00開演 ノルウェーの夏の日 Op.27

ウェーバーの「舞踏への招待」による大幻想曲 Op.15 他

金澤攝：ピアノ曲 1977 初演 他

開場はプレコンサートの15分前です。

Halle Runde (名古屋市昭和区桜山町)

チケット代金 (各回) [全席自由・整理番号順入場]

一般：3,000円 学生：1,500円

ペア：5,000円 (ルンデ取扱のみ)

整理番号順入場 WEB 早期申込み割引あり

チケットの購入はこちらから

ルンデ

<https://dbf.jp/runde/kanazawawosamu>

*未就学児のご入場はお断りいたしております。



『花束よりチケットを』

ルンデでは出演者のプレゼント等は受付にてお預かりいたしません。そのお気持ちをチケットにかえて、ご家族、ご友人とお越しいただきましたらうれしく思います。

ピアノ音楽の歴史において、その中核を占めているのは1810年代、'20年代に生れた作曲家たちである。それはショパンに始まり、アントン・ルビンシテインに至る20年間にあたる世代で、彼らによってピアノ音楽は鮮やかな色彩感を得、一つの楽器を人声やオーケストラへと変貌させた。

だが華やかでキャッチーなセンスに長けた'10年代の人々とは対照的に、内省的で複雑な書法によって表現の深化を求めた'20年代に注目が集まることはなく、ピアノ音楽史上、最大の「闇の大陸」となっている。一般に知られているピアノ曲はフランクの晩年作だけではないだろうか。そのインティメートなイメージはフランクだけのものではなく、'20年代に共通する性格なのである。

その中でとりわけ多くの才能を産み出したのが1821年だった。

私はこの年に生れた作曲家から7名に注目し、この7年間で約400点の楽譜を入手してそれぞれの創作史を追った。各自の個性は見事に異なるも、そこには世代や生年の一致点が反映する。

今年のルンデではこのうちの4名を生年月日順に取り上げ、「1821年」がもたらしたものに迫って見たい。

また各回の最後に、私自身の初期作品を組み込んだ。

2026.5.10 金澤 攝

Vol. I 8/21 (金) シャルル・ボヴィ・リスベルク Charles Bovy Lysberg (1821-1873)

<プレコンサート> スイスの女たち-5つの華麗なワルツ Op.1 / レマン湖-カドリール Op.5 / パルカロール Op.7 / 3つの夜想曲 Op.10

<本編> 6つのエチュード Op.14 / 4つのロマンス Op.15 / 「ウィリアム・テル」による幻想曲 Op.16 / 6つのカプリス Op.18 / 左手のためのエチュード Op.20 / 2つの夜想曲 Op.24 / パルカロール第2番 Op.25 / ラ・ナポリターナ-軽やかさのエチュード Op.26 / 3つの無言歌 Op.27 / テルプシコール Op.28-カプリス / タランテラ Op.32

金澤攝: カプリッチョ (1969) / ピアノ曲 1971

Vol. II 9/19 (土) オーギュスト・ヴォルフ August Wolff (1821-1887)

<プレコンサート> 華麗なワルツ Op.3 / 6つのカプリス Op.4

<本編> ヴェネツィアの舟歌 Op.5 / タランテラ Op.6 / ソナタ Op.7 / ノクテュルヌ Op.9 / チロルのロンド Op.11 / 4つのメロディ Op.12 / 夜の刻-ワルツ組曲 Op.13 / 3つのメロディ Op.14 / レドア (Op.なし)

金澤攝: 間奏曲 (1972) 改訂2025 / 昭和の日記から (1972/2025) 初演

Vol. III 10/26 (月) フリードリッヒ・キール Friedrich Kiel (1821-1885)

<プレコンサート> 室内様式の15のカノン Op.1

<本編> 6つのフーガ Op.2 / カプリチェット Op.4 / 3つのロマンス Op.5 / リート様式の3つのピアノ曲 Op.8 / 4つの2声のフーガ Op.10 / グランド・ポロネーズ Op.14 / 変奏曲とフーガ Op.17

金澤攝: 3つの幻想 (1973) / 音の絵本 (1974/2004) 初演

Vol. IV 12/5 (土) ルドルフ・ヴィルマース Rudolf Willmers (1821-1878)

<プレコンサート> 6つのエチュード Op.1 / 2つのセレナード Op.5

<本編> 海辺にて Op.8 / 夜想曲 Op.12 / 2つのメヌエット Op.14 / ウェーバーの「舞踏への招待」による大幻想曲 Op.15 / ノルウェーの夏の日-大幻想曲 Op.27 / 2つのコンサート・エチュード Op.28

金澤攝: ガヴォット (1974) / 5つの音 (1975) / ピアノ曲 1977 初演 ほか

曲目を一部変更する場合がございます。ご承知お願います。

チケット販売 ▶▶ 芸文プレイガイド (052-972-0430) / ブレイクカフェ (Halle Runde 1階)

Web Live Concert 同時開催 ルンデ会員登録が必要です。詳しくはルンデWebサイトのチケット購入ページでご確認ください。

ご来場の皆さんへお願い

・発熱(37.5℃以上)および体調不良の方のご来場はお控えください。公演後でも構いませんのでご連絡いただきましたら、ルンデ主催の他公演への振替をいたします。

・マスクのご持参をお願いいたします。感染症蔓延期は必ずご着用ください。

・ご来場いただく皆さんと共に作る音楽の場です。気軽に来ただけの場を目指していますが、よりよい空間にするためのルールとお願い事を下記URLのWebページに記載しておりますので、お時間があるときにご確認ください。

[ご来場の皆様へ(ルンデのルールその.2)]

<https://dbf.jp/runde/index.cfm?page=rule02>



一般財団法人 ルンデ

〒466-0044 名古屋市昭和区桜山町1丁目21番
TEL: 052-846-8566 / E-mail: runde@dbf.jp

[アクセス]

ホールへお越しの方の駐車場ご利用はお断りいたします。
名古屋駅からは、名古屋市営地下鉄桜通線
金山駅からは、名古屋市営バスをご利用ください。

・名古屋市営地下鉄桜通線・鶴舞線「御器所駅」3番出口

・名古屋市営地下鉄桜通線「桜山駅」1番出口

・名古屋市営バス「桜山」
(それぞれ徒歩 10 分程度)

<https://dbf.jp/runde/>

